

スクラム

保護者会号

情報モラル教育 ～学校と家庭の連携～

ネットのルールは社会全体のルールです。そのルールを伝えていくことは大人の責任です。保護者と学校が連携して「**ネットの危険から自分で自分の身を守る方法**」を身につけさせなければならないと思います。コンピュータやネットワークの専門家でなくても、人を傷つけてはいけないということや、正しい判断をするための基準、トラブルを防ぐ方法、トラブルを解決する方法など、モラルに関することを子どもとともに考えていくことはできます。「情報やネットワークの特性」は、技術科の「情報に関する技術」で学習していますし、情報モラルについても、学習しています。ぜひ、御家庭でもお子様と話し合ってください。

本日の保護者会で「**to2 2 宣言**」「**S N S 三中ネットワーク宣言**」についてのパンフレットを配布させていただきます。なお、我が家のインターネットルールは、この裏面に載せましたので、御利用ください。

ネットトラブルを防ぐために

☆「未熟な言葉の使い方」「話し言葉と書き言葉」☆

LINEやインスタグラムのDM（ダイレクトメール）などは、基本的に「文字」のやりとりです。子どもたちは、何気なく普段の会話の中で使っている相手を不快にさせるような言葉を、悪気なく使ってしまいかもしれません。「文字」になって残ることで、更に相手を不快にさせたり傷つけたりします。

正しい言葉遣いを身につけさせることで、書き言葉を丁寧にさせます。そうすることで文面が優しくなりトラブルを防ぐことができます。

☆コミュニケーション能力を高める☆

直接相手と話すことが苦手な子どもが増えています。「面と向かって話をする時の相手の反応が怖い」という対人ストレスに弱くなっているように思います。トラブルになっても、「文字」で済まそうとしてしまうことがあります。「文字」だけだと細かな感情が伝わらないので、問題がこじれてしまうことがあります。

直接話し合うことで、相手の表情や声の調子から相手の気持ちを感じ取ることが

できます。また、自分の思いを正しく相手に伝えることにも有効です。SNSは便利なツールであることを理解し、時と場合に応じて使い分けすることが大切です。コミュニケーションの機会を増やし、対人スキルを向上させましょう。

☆子どもの実態に合ったルールを作り、実行する☆

子どもたちはこれから大人になるまでにいろいろなことを勉強していきます。インターネット利用もその一つで、「何が正しくて、何が悪い情報か。」「書き込んで良い情報かどうか？」を自分で見極める力をつけなければなりません。中学生は、まだまだ危険やトラブルに対応する力が弱く、被害にあう危険性も高いです。お子さまの実態にあったルールを作り、定期的に我が家のルールがお子さまの実態と合っているかをチェックし、見直しをしてください。

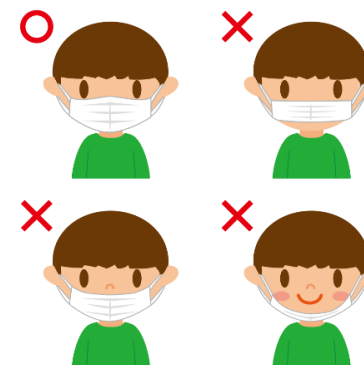
「自分自身を守るためのルール」であるということを理解するためにも、親子でじっくり話し合いながらルールを決めてください。自分で決めたことを守ることは、達成感にもつながります。

新型コロナウイルスに関する対応

全国的に新型コロナウイルス感染症の患者が増加しています。一般的な対応も日々変化していますので、三国中学校の対応について6月の生徒指導だよりにも掲載しましたが、再度確認させていただきます。

★基本的なルール

- ◎各家庭での検温をお願いします。
- ◎うがい・手洗い・アルコールによる手指消毒を徹底する。
- ◎3つの密が重なる場所を避ける。
- ◎基本的にはマスクを着用する。
(色・柄については指定していません。)
- ◎友だちのものには触らない。
(ものの貸し借りをしない。)
- ◎適切な距離をとって行動する。
- ◎アルコール等の消毒・除菌グッズの取り扱いに十分注意する。



裏面の「我が家のインターネットルール」も御活用ください。